

2019年1月 今月のトピック

『2018年の投信市場動向』

アナリスト 標 陽平

2019年1月16日作成

2018年の公販投信市場について、新規設定、資金流入、パフォーマンスの3つの面から確認する。

『ポイント』

- 新規設定ファンドは前年と比べ、設定本数・設定額ともに減少した。新規設定ファンドに対して過度に資金が集中することに懸念を示す金融庁の方針や、販売会社が長期のトラックレコードを有するファンドを採用する傾向が強まっていることが要因と考えられる。
- 資金流入についても前年と比べ低調となった。外国株式型、複合資産型に対して安定的に資金が流入している一方、国内株式型では相場の上昇・下落をとらえた売買が顕著で投機的な行動も散見されている。
- パフォーマンスは10月から12月にかけて相場が下落したことで国内債券を除く全てのアセットクラスでマイナスのリターンとなった。個別ファンドでみると、J-REITファンドがリターン及びシャープレシオともに上位ファンドの大半を占めた。なお、シャープレシオに限っていえば、国内債券ファンドの一部が上位にランクインしている。これらのファンドは国内債券ファンドのカテゴリー全体と比較しても良好なパフォーマンスを示す結果となった。

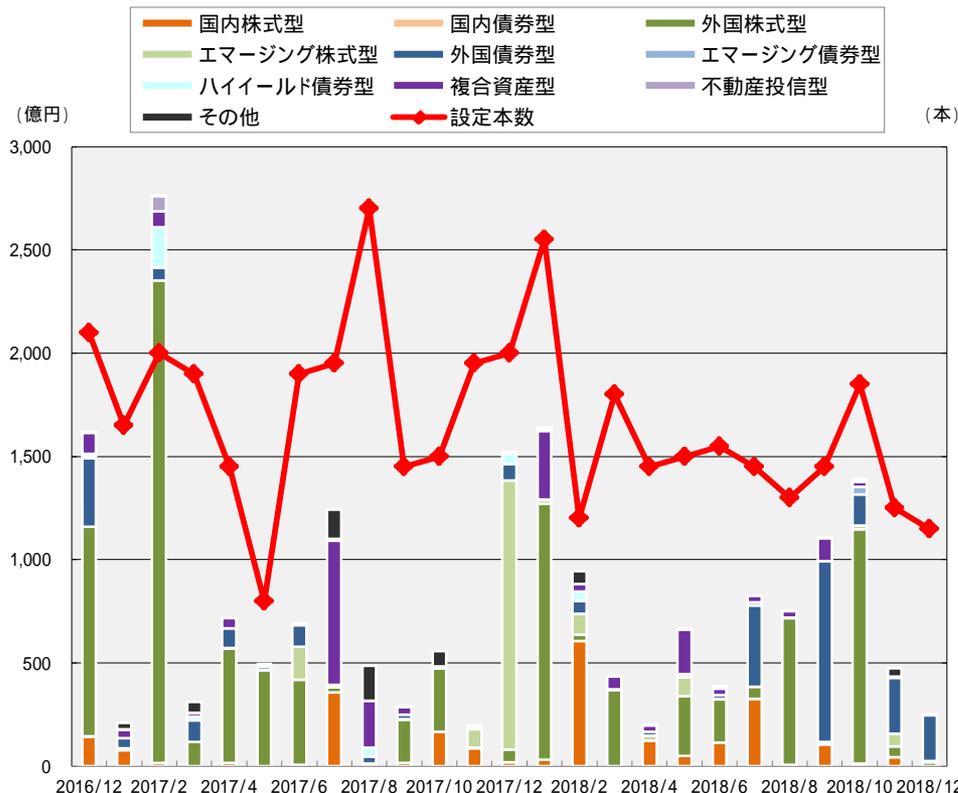
■新規設定ファンドの推移

今回のトピックでは、ETF、DC専用、ラップ専用を除く公募投信を分析対象のユニバースとする。

まず、新規設定ファンドの動向について確認する。2017年と比べると、新規設定ファンドの設定本数・設定額ともに減少した。アセットクラス別にみると、外国株式型が設定の中心である傾向が続いている。前年の2017年はAI・ロボットといったテーマ型ファンドが多く設定されたが、2018年は自動運転技術・医療バイオといったテーマが注目を集めた(右下表No.2、9など)。

他方、2018年7月からは外国債券型(青色)の設定がみられるようになった。これは、単位型投信として毎月設定されている、「ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド(プライムOne)」(AM-One)の影響によるもの(No.1、7など)。

同ファンドはGS社が発行する仕組債に投資し元本確保を図りながら、コールオプションを活用した国際分散投資戦略によってリターンの上積みを狙うファンドである。銀行等において主に保守的な顧客層を投資に呼び込む商品として資金を集めた。



新規設定上位10ファンド

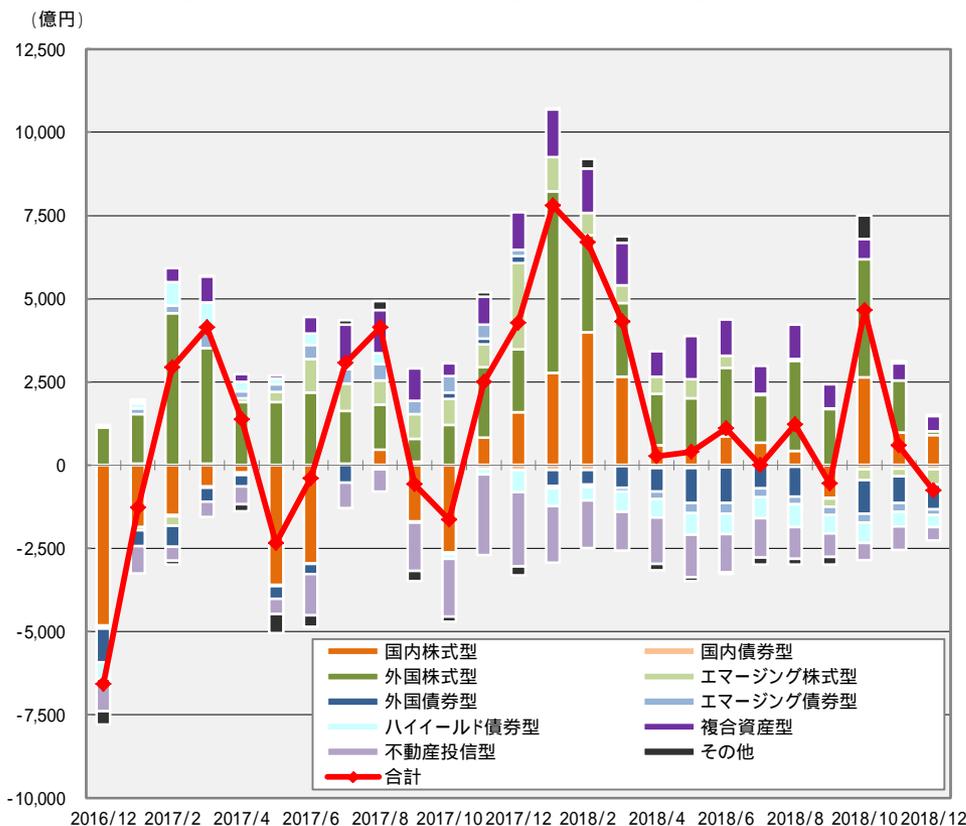
No.	ファンド名	運用会社	分類	設定日	純資産額 (億円)12月	当初設定額 (億円)
60	1 ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2018-09(プライムOne2018-09)	AM-One	外国債券(先進国)	2018/09/28	808	840
50	2 グローバルE V関連株ファンド(為替ヘッジなし)(E V革命)	大和住銀	外国株式(先進国)	2018/01/24	1,134	774
40	3 グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(年2回決算型)(為替ヘッジなし)(未来の世界(年2回決算型))	AM-One	外国株式(先進国)	2018/08/01	1,272	641
30	4 (早期償還条項付)野村日本割安低位株投信1802	野村	国内株式	2018/02/23	437	595
20	5 フィッシャー・グローバル・スモールキャップ・エクイティ・ファンド(ライジング・フューチャー)	AM-One	外国株式(先進国)	2018/10/01	447	375
10	6 キャピタル・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカICA	キャピタル	外国株式(先進国)	2018/01/31	650	308
10	7 ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2018-07	AM-One	外国債券(先進国)	2018/07/31	298	307
10	8 未来イノベーション成長株ファンド	三菱UFJ国際	外国株式(先進国)	2018/03/27	650	291
10	9 野村ACI先進医療インパクト投資Bコース為替ヘッジなし資産成長型	野村	外国株式(先進国)	2018/10/23	538	290
10	10 野村ターゲットインカムファンド(マイ・ロングライフ)	野村	複合資産	2018/01/26	507	288

■ 資金流出入状況

次に、市場全体への資金流出入状況について確認する。2018年は1月から3月に多額の資金流入が見られた一方、4月以降は低調な資金流出入となった。

アセットクラス別では、REIT・ハイイールド債券・外国債券から多額の資金が流出した。特に、海外REITでは米国を中心とした金利上昇懸念やパフォーマンス悪化による毎月分配金の引き下げ等が資金流出に大きな影響を与えた。他方、外国株式・複合資産に対しては、安定的に資金が流入している。

2018年10月には資金が大幅に流入しているが、国内株式型の影響が大きい。当月は株式市場が調整局面を迎え、株価の下落をとらえた押し目買いの動きが強まった。特に日経平均株価に連動するパッシブファンドに多額の資金が流入しており、投機的な売買に左右された1か月であったといえる。



資金流入上位10ファンド

No.	ファンド名	運用会社	分類	設定日	純資産額 (億円)12月	資金流入額 (億円)1Y
1	モビリティ・イノベーション・ファンド	BNYメロン	外国株式 (先進国)	2018/01/22	2,126	2,937
2	次世代通信関連世界株式戦略ファンド(THE 5G)	三井住友トラスト	外国株式 (先進国)	2017/12/15	1,982	2,230
3	ひふみプラス	レオス	国内株式	2012/05/28	5,306	2,171
4	グローバル・ロボティクス株式ファンド (年2回決算型)	日興	外国株式 (先進国)	2015/08/31	4,021	1,985
5	フューチャー・バイオテック	三井住友	外国株式 (先進国)	2018/06/25	1,547	1,818
6	netWINゴールドマン・サックス・インターネット戦略ファンドBコース(為替ヘッジなし)	G S	外国株式 (先進国)	1999/11/29	2,403	1,769
7	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投資Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	アライアンス	外国株式 (先進国)	2014/09/16	2,443	1,633
8	グローバルE V関連株ファンド(為替ヘッジなし)(E V革命)	大和住銀	外国株式 (先進国)	2018/01/24	1,134	1,560
9	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(年2回決算型)(為替ヘッジなし)(未来の世界(年2回決算型))	AM - One	外国株式 (先進国)	2018/08/01	1,272	1,483
10	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)(未来の世界)	AM - One	外国株式 (先進国)	2016/09/30	3,427	1,451

■アセットクラス別のパフォーマンス推移

2018年は9月に日経平均株価がバブル期以来の最高値を更新した一方で、10月から12月にかけて大幅な調整局面を迎えるなど乱高下した1年間であった。最終的には12月の大幅下落が重しとなったことで、年間(直近12ヵ月)では国内債券を除く全てのアセットクラスがマイナスのリターンに陥るなど厳しい相場環境であったといえる。

米中貿易摩擦懸念の高まりにより、エマージング資産等が年間を通じて軟調な推移となったが、10月以降で20%近く下落した国内株式が最下位となっている。

参考として昨年2017年のパフォーマンスを確認すると、国内株式が最も上昇、最下位の国内債券もほぼ横ばいとなっており、マイナスとなったアセットクラスは存在しなかった。

ご参考

2018年1月	2018年2月	2018年3月	2018年4月	2018年5月	2018年6月	2018年7月	2018年8月	2018年9月	2018年10月	2018年11月	2018年12月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近12ヵ月	昨年12ヵ月
エマージング株式 3.3%	国内債券 0.3%	国内債券 0.1%	外国株式 3.6%	REIT 1.2%	REIT 2.0%	エマージング株式 4.5%	外国株式 0.9%	国内株式 5.0%	国内債券 0.1%	エマージング株式 6.0%	国内債券 0.3%	国内債券 0.7%	エマージング債券 0.9%	国内債券 0.1%	国内株式 27.6%
国内株式 1.9%	外国債券 -2.5%	REIT 0.0%	国内株式 2.4%	外国株式 0.5%	外国債券 0.3%	外国株式 3.4%	REIT 0.4%	エマージング債券 4.4%	エマージング債券 -0.1%	REIT 3.0%	エマージング債券 -2.0%	エマージング債券 0.1%	国内債券 -0.1%	REIT -4.7%	エマージング株式 26.5%
外国株式 0.6%	エマージング債券 -2.6%	外国債券 -0.8%	REIT 2.2%	国内債券 0.1%	外国株式 0.1%	エマージング債券 3.3%	国内債券 -0.4%	ハイイールド債券 3.6%	外国債券 -1.1%	外国株式 2.5%	外国債券 -2.4%	外国債券 -2.5%	外国債券 -0.6%	外国債券 -5.9%	外国株式 16.1%
国内債券 -0.2%	ハイイールド債券 -2.7%	エマージング債券 -1.1%	ハイイールド債券 1.3%	国内株式 -1.3%	国内債券 0.0%	ハイイールド債券 2.9%	国内株式 -1.2%	外国債券 1.9%	ハイイールド債券 -1.2%	エマージング債券 2.2%	ハイイールド債券 -4.6%	ハイイールド債券 -5.1%	ハイイールド債券 -2.5%	ハイイールド債券 -9.9%	エマージング債券 9.2%
エマージング債券 -0.9%	エマージング株式 -3.6%	ハイイールド債券 -1.9%	外国債券 1.1%	外国債券 -1.6%	ハイイールド債券 -0.3%	REIT 1.4%	外国債券 -1.3%	外国株式 1.6%	REIT -2.2%	国内株式 2.0%	エマージング株式 -5.4%	REIT -5.2%	REIT -3.2%	エマージング債券 -9.9%	ハイイールド債券 7.6%
ハイイールド債券 -1.3%	国内株式 -3.9%	国内株式 -2.3%	エマージング株式 0.3%	ハイイールド債券 -3.0%	国内株式 -0.8%	外国債券 1.3%	エマージング株式 -3.4%	エマージング株式 1.0%	エマージング株式 -7.9%	外国債券 1.0%	REIT -5.9%	エマージング株式 -7.7%	エマージング株式 -5.8%	外国株式 -14.1%	REIT 5.4%
外国債券 -2.0%	外国株式 -4.6%	外国株式 -3.8%	国内債券 -0.1%	エマージング株式 -3.4%	エマージング債券 -2.1%	国内株式 1.1%	ハイイールド債券 -3.6%	REIT 0.4%	外国株式 -8.6%	ハイイールド債券 0.6%	外国株式 -10.1%	外国株式 -15.7%	外国株式 -10.7%	エマージング株式 -16.4%	外国債券 4.8%
REIT -2.0%	REIT -4.7%	エマージング株式 -3.9%	エマージング債券 -0.5%	エマージング債券 -4.1%	エマージング株式 -4.3%	国内債券 -0.1%	エマージング債券 -6.5%	国内債券 -0.2%	国内株式 -10.2%	国内債券 0.3%	国内株式 -11.5%	国内株式 -18.9%	国内株式 -15.0%	国内株式 -18.5%	国内債券 0.0%

ETF、DC専用、SMA専用、公社債投信等を除いた公募投信から、円ヘッジ、一部円ヘッジを使用しているファンドを除外したものを対象とし、各期間別の収益率をカテゴリー別に単純平均して作成したランキング表

■個別ファンドのパフォーマンス推移(リターン上位順)

次に、2018年の年間リターン上位となったファンドを確認する。1位、2位は先物の売り建てを活用したファンドで、相場が下落すると価格が上昇する特性を持つ。いずれも12月の相場下落局面で大幅なリターンを獲得した。3位は中東地域の株式に集中投資するファンドで、一般的なエマージング株式ファンドとは値動きが大きく異なる点に注意が必要である。

4位以降は全てJ-REITファンドだった。2018年はJ-REITにとって追い風の相場環境であったといえる。国内の不動産市況が好調であった点や、海外と比べ国内金利が低位で推移した点などがプラスに寄与した。

J-REITは他の資産に対して異なる値動きをすることが知られている。参考として主要資産対比の過去3年の相関係数を確認すると、最も大きい先進国株式対比でも0.24と目立った相関はみられていない。円高の影響を受けにくく、株式市場が下落する際や市場金利が低下する際には魅力度が高まり資金が流入する傾向がある。分散効果を期待する際にポートフォリオに組み入れる選択肢の一つとなるファンドといえよう。

2018年12月末基準

No.	ファンド名	運用会社	分類	国・地域	設定年月	純資産額 (億円)	アクティブ /パッシブ	運用管理 費用(%)	リターン (1Y・%)	年率リス ク (1Y・%)	シャープ レシオ (1Y)
1	WT I原油先物ファンド(ショート・ポジ ション)	アスト マックス	その他 (ブルベア)	米国	200907	1.2	パッシブ	2.04	18.06	35.14	0.52
2	野村ブル・ベア セレクト7(円高豪ドル安 トレンド7)	野 村	その他 (ブルベア)	その他	201706	0.8	パッシブ	1.10	16.56	19.33	0.86
3	カタール・アブダビ株式ファンド	カレラ	エマージ ング株式	中東	201307	5.4	アクティブ	1.63	13.59	11.12	1.23
4	ノーロード明治安田J-REITアクティ ブ	明治安田	REIT	日本	201612	7.9	アクティブ	0.30	12.37	7.53	1.65
5	東京海上J-REIT投信(通貨選択型) メキシコベソコース(年2回決算型)	東京海上	REIT	日本	201407	3.5	アクティブ	1.24	12.14	14.46	0.84
6	東京海上J-REIT投信(通貨選択型) メキシコベソコース(毎月分配型)	東京海上	REIT	日本	201407	11.4	アクティブ	1.24	12.13	14.47	0.84
7	DIAMストラテジックJ-REITファ ンド	AM-O ne	REIT	日本	200802	82.3	アクティブ	1.03	11.66	7.62	1.54
8	DIAM J-REITアクティブファンド (1年決算型)(ハッピー・オーナー1 年)	AM-O ne	REIT	日本	201310	0.8	アクティブ	1.08	11.65	7.71	1.52
9	明治安田J-REIT戦略ファンド(毎月 分配型)(リート王)	明治安田	REIT	日本	201106	173.3	アクティブ	0.97	11.58	7.50	1.55
10	DIAM J-REITオープン(毎月決算 コース)(オーナーズ・インカム)	AM-O ne	REIT	日本	200312	843.0	アクティブ	1.08	11.53	7.79	1.49

ご参考：過去3年の相関係数

	国内 株式	国内 債券	先進国 株式	新興国 株式	先進国 債券	新興国 債券	ハイ・リ ド 債券	国内 REIT	先進国 REIT
国内 株式	1.00	-0.64	0.91	0.77	0.63	0.60	0.85	0.07	0.58
国内 債券	-0.64	1.00	-0.60	-0.41	-0.46	-0.31	-0.62	0.15	-0.33
先進国 株式	0.91	-0.60	1.00	0.78	0.61	0.54	0.84	0.24	0.72
新興国 株式	0.77	-0.41	0.78	1.00	0.38	0.71	0.58	0.22	0.44
先進国 債券	0.63	-0.46	0.61	0.38	1.00	0.60	0.82	0.03	0.59
新興国 債券	0.60	-0.31	0.54	0.71	0.60	1.00	0.65	0.11	0.35
ハイ・リ ド 債券	0.85	-0.62	0.84	0.58	0.82	0.65	1.00	0.03	0.65
国内 REIT	0.07	0.15	0.24	0.22	0.03	0.11	0.03	1.00	0.12
先進国 REIT	0.58	-0.33	0.72	0.44	0.59	0.35	0.65	0.12	1.00

■個別ファンドのパフォーマンス推移(シャープレシオ上位順)

最後に、2018年の年間シャープレシオ上位について確認する。運用の効率性を示すシャープレシオにおいてもJ-REITファンドが上位となった。他方、1位と9位に国内債券ファンド(明治安田)がランクインしている点は注目し値する。前述のアセットクラス別のパフォーマンス推移で確認したように、国内債券ファンド全体のリターンは0.1%と必ずしも高いとはいえない中、これらのファンドは低リスクで相応のリターンを獲得することに成功した。

マイナス金利下の日本では金利の低下幅が限定的であることから金利戦略で十分なリターンを獲得することが困難といえるため、明治安田アセットマネジメントのファンドでは社債発行体のクレジット分析(銘柄選択)を重視した運用を行っている。2018年は日銀の金融政策を背景に、国内金利が低位で安定的に推移したことでリスク水準が抑制された一方、相対的に高い社債のクーポン収入によってリターンを確保することに成功した。加えて、アクティブファンドでありながら運用管理費用も0.2%程度と低位である点もリターンに寄与したものと考えられる。

2018年12月末基準

No.	ファンド名	運用会社	分類	国・地域	設定年月	純資産額 (億円)	アクティブ /パッシブ	運用管理 費用(%)	リターン (1Y・%)	年率リス ク (1Y・%)	シャープ レシオ (1Y)
1	ノーロード明治安田社債アクティブ	明治安田	国内債券	日本	201612	14.5	アクティブ	0.24	1.28	0.52	2.57
2	ノーロード明治安田J-REITアクティブ	明治安田	REIT	日本	201612	7.9	アクティブ	0.30	12.37	7.53	1.65
3	J-REITバリューファンド毎月分配型	野村	REIT	日本	201506	21.7	アクティブ	1.13	11.13	6.99	1.60
4	J-REITバリューファンド年2回決算型	野村	REIT	日本	201506	22.8	アクティブ	1.13	11.00	7.07	1.56
5	J-REIT・リサーチ・オープン(年2回決算型)	三井住友 トラスト	REIT	日本	201311	288.2	アクティブ	1.08	10.69	6.90	1.56
6	明治安田J-REIT戦略ファンド(毎月分配型)(リート王)	明治安田	REIT	日本	201106	173.3	アクティブ	0.97	11.58	7.50	1.55
7	DIAMストラテジックJ-REITファンド	AM-O ne	REIT	日本	200802	82.3	アクティブ	1.03	11.66	7.62	1.54
8	J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	三井住友 トラスト	REIT	日本	200501	2679.5	アクティブ	1.08	10.47	6.86	1.53
9	明治安田日本債券オープン(毎月決算型)(しあわせ宣言(毎月決算型))	明治安田	国内債券	日本	200104	20.0	アクティブ	0.19	1.60	1.09	1.53
10	DIAM J-REITアクティブファンド(1年決算型)(ハッピー・オーナー1年)	AM-O ne	REIT	日本	201310	0.8	アクティブ	1.08	11.65	7.71	1.52

ご参考: 明治安田日本債券オープンの過去5年間の推移



- l 本レポートに関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
- l 本レポートは、MABが信頼できると判断した情報源から入手した本レポート作成基準日現在における情報をもとに作成しておりますが、当該情報の正確性を保証するものではありません。
- l MABは、本レポートの利用に関連して発生した一切の損害について何らの責任も負いません。
- l 本レポート中のグラフ・数値等は、あくまでも本レポート作成基準日までの過去の実績を示すものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- l 本レポートは、情報提供を目的としたものであり、投資信託の勧誘のために作成されたものではありません。
- l MAB投信指数「MAB300」(以下、本指数)に関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。また、本指数を商業的に利用する場合にはMABの利用許諾が必要です。

【照会先】

三菱アセット・ブレインズ株式会社

アナリストグループ

標(しめぎ)・勝盛・澤井

03-6721-1039

analyst@mab.co.jp

〒107-0062

東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館8階

TEL:03-6721-1010 FAX:03-6721-1020

URL: <http://www.mab.jp/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1085号

加入協会名 一般社団法人 日本投資顧問業協会